



「コットンから 次の東北をつくりたい。」

< 東北コットンプロジェクト 2016 東松島収穫祭にボランティア参加します >

宮城県東松島市の農場で綿花の収穫をお手伝いします

株式会社コックス（本社：東京都中央区日本橋浜町 1-2-1、代表取締役社長：吉竹英典）は、2016年11月26日（土）に開催される「東北コットンプロジェクト 2016 東松島収穫祭」に参加します。当日は、当社の従業員がボランティアとして、宮城県東松島市の「東北コットンプロジェクト 東松島農場」にて綿花の収穫をお手伝いします。



当社は東日本大震災復興支援の一環として、「東北コットンプロジェクト」に2012年より参加しています。この活動は、震災の津波により稲作が困難になった農地において、塩害に強い「綿」の栽培・紡績・生地化・商品化・販売までを一貫して実施する復興支援プロジェクトです。長期視点で被災地の復興を考える農家と企業が集まり、農業を基盤とした東北の新たな農産物の確立を目指しています。

震災直後の2011年、「塩害に強い綿花を育て、復興を支援しよう」と、アパレル関係者などが被災地の農業生産組合や農業法人に呼びかけて栽培が始まり、徐々に収穫量も増えてきました。

当社では、農場での種まきや草取り、収穫した綿花を生地に使用した商品の発売などを通して、継続的な支援を行なっております。2016年収穫の綿花は、製品化し2018年3月に店頭にて発売予定です。

コックスは今後も引き続き、1日でも早い東北の復興を願い、ファッションを通じた様々な支援活動を行なってまいります。



▲昨年の収穫祭の様子

●●●東北コットンプロジェクト 2016 収穫祭 概要●●●

日程：2016年11月26日（土）

場所：宮城県東松島市「東北コットンプロジェクト 東松島農場」

参加：当社従業員4名（予定）、ほかプロジェクト参加各社など

※東北コットンプロジェクトHP：<http://www.tohokucotton.com/>

○●2014年収穫の東北コットンで商品をつくりました●○

ikka



綿花が、衣料品としてお客さまのお手元に届くまでには、紡績・生地化・製品化といった様々なプロセスがあります。実際に、毎年秋に収穫されるその年の綿花は、翌年にやっと様々な製品となって店頭で販売されます。

LBC



VENCE EXCHANGE



2015年8月7日(金)に発売した「東北コットンプロジェクト」の商品では、2014年に栽培・収穫されたコットンを使用しました。過去最大量のコットンを買付け、当社の主要ブランドすべてから全6型を約230店舗とWEBストアにて発売しました。

○●製品の販売だけでなく、種まきや草取りにも参加●○

全国に店舗を展開し、東日本大震災で甚大な被害が出た東北地方にも多数の店舗を出店している当社は、ファッションアパレル企業として被災地にできることをしようと、この活動への参加を決めました。

プロジェクトの一員として、店頭での販売だけでなく農場での種まきや草取り、収穫にもボランティアとして参加しています。



●2012.6/2013.5の種まきの様子 やり方を教えてもらいながら、丁寧に植えていきます。



●2012.7 草取り 使用できる農薬が限られるので、雑草を手で取り除きます。 ●2012.11 荒浜収穫祭



●2013.11 東松島収穫祭 草取り同様すべて手作業。東北でやっと実った綿花は、何よりも温かく感じます。